

第1学年 音楽科学習指導案

日時 平成27年11月18日(水) 5校時
児童 1年生 12名
指導者 主浜 みどり

1 題材名

いろいろな おとを たのしもう

2 教材名

シンコペーテッド クロック (ルロイ＝アンダソン作曲)

3 題材について

(1) 題材の目標

- 身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の仕方や楽器の音色に興味・関心を持って演奏したり音楽を作ったりする。
- 楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさや面白さに気付いていく。

(2) 題材について

この題材では、いろいろな音に対する興味関心を育てながら、音色の違いや音の様々な特徴をとらえて表現の仕方を工夫することをねらいとする。

音色が生み出す面白さを楽しみながら聴く鑑賞の学習を十分に深め、そこで得た楽器の音色への興味・関心をベースにして学習を展開していく。打楽器の様々な演奏の仕方を体験し、音色の違いを感じ取りながら、表現の仕方を工夫していく。

歌詞の内容からではなく、音色を中心にしながら子ども達の表現への考えや願いを育む。また、鑑賞と表現を関連した学習の過程で、気付いたり発見したりした音の面白さを十分に生かして音楽作りに取り組む。

(3) 指導計画【 9時間扱い】

次	時	主な学習活動	教材曲
第1次	1	いろいろな音をみつけてならしましょう	*おとさがし
		・音色に気をつけながら、様々な鳴らし方を試し、一つの楽器からいろいろな音を見つける。	
第2次	2 本時	みみをすましていろいろなおとをききましょう。	シンコペーテッド ドクロック
		・楽器の音色やリズムに気をつけながら聴き、楽曲全体の気分を楽しむ。	
第3次	3～6	ほしぞらのようすにあうおとでえんそうしましょう。	きらきらぼし
		・楽曲全体の気分を味わって聴く。 ・様子を思い浮かべて歌い方を工夫する。 ・鉄琴や鍵盤ハーモニカで演奏して楽しむ。	
第4次	7～9	ほしぞらのようすをあらわすおんがくをつくりましょう。	*ほしぞらのおんがく
		・星空の様子に合った音選びをする。 ・星空の様子に合った表現を工夫する。 ・音楽の終わり方を工夫する。	

4 教材について

(1) 学習指導要領との関連

B 鑑賞

ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと

ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと

〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素についての指導内容

ア (ア) **音色**、リズム

(2) 教材について

チックタックと、規則正しく時を刻む時計の秒針を模した音に、時折シンコペーションのリズムが使われ、変則的で愉快的な時計の様子を表している。A－B－Aの3つの部分からできており、Aの部分では時計の秒針の音は4分音符の連続でウッドブロックによって表される。フレーズの変り目にはシンコペーションのリズムも加わる。Bの部分では目覚まし時計のベルの音を模し、トライアングルが連打される。曲の最後の部分ではカウベル、スライドホイッスルの音も加わり、打楽器の音色の楽しさを味わえるだけでなく、最後にはあたかも時計がばらばらに壊れてしまうかのような面白さを音楽から味わうことができる。また、Aの部分の伸びやかな弦楽器の音色と旋律、Bの部分の軽やかな金管楽器の音色等、いろいろな楽器の音色とも出会える楽曲である。

Aの部分をはほぼ通して演奏されているウッドブロックの響きに注目したり、Bの部分のベルを模しているトライアングルの音色の特徴や音の出し方の違いを感じ取ったりすることで、楽器の音色と演奏の仕方とのかかわりへの興味・関心を高めることができる。

(3) 児童について

子どもたちはこれまで、友達と一緒に歌ったり体を動かしたりしながら、音楽の時間を楽しく学習してきた。拍の流れを感じとりながら、リズム打ちや、リズムに合わせた言葉遊びをした。また、階名に親しんだり、鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身につけたりしてきた。

「ようすをおもいうかべよう」という題材では、「おどるこねこ」を鑑賞し、こねこが楽しく踊りながら遊んでいるという楽曲の気分を感じ取り、踊る動作をしたり、曲のストーリーに合わせてごっこ遊びをしたりして楽しんだ。また歌詞から歌の気分を感じ取り、工夫して歌う活動を楽しんだ。

どの子どもも音楽が好きで、楽しく活動している。音色に注目する学習は初めてである。注意深く音楽を聴いたり、聴いて感じ取ったことを言葉や動作で表現することには喜んで取り組むが、その内容には個人差がある。

また、鑑賞の学習では聴き取った音楽に対して様々にイメージし、進んで話そうとする子どもたちであるが、言葉の表現力はまだまだ未熟である。子ども達が自由に感じ取ったことを大切にしつつ、指導者が言葉を補いながら、聴き取った事を整理しながら学習を進めたい。

(4) 評価

具体的評価規準	十分満足 (A)	努力を要する児童への支援 (C)	評価方法
【観点1】 関心・意欲・態度 ・ウッドブロックやトライアングルなどの音色や演奏方法に興味関心をもって聴き、楽曲全体の気分を感じ取ろうとしている。	・ウッドブロックやトライアングルなどの音色や演奏方法に興味関心を持って聴き、楽曲全体の気分を前進で感じ取ろうとしている。	・ウッドブロックやトライアングルなどの音色に気付けるよう、他の児童の動きを真似させたり、実際の楽器にふれたりしながら、聴き取ろうという意欲を持たせる。	表情や行動観察 発言内容
【観点4】 鑑賞の能力 ・ウッドブロックやトライアングルなどの音色を聴き取り、演奏方法を予想したり、音色が表す様子を想像したりする。	・ウッドブロックやトライアングルなどの音色を聴き取り、演奏方法を予想したり、音色が表す様子を想像したりしたことを言葉で表している。	・時計の絵や、板書、友達の発言を参考に、様子を想像させる。A、B、コーダの部分の中からすきなところを選ばせ、その理由を話すことで、よさに気付かせる。	表情や行動観察 発言内容

5 本時の指導

(1) 本時の指導について

① 体を使って鑑賞曲に十分親しませる中で、楽器の音色に児童の意識を向けさせる手だて

ウォームアップの活動の中で、ウッドブロック、トライアングルに触れさせて、興味関心を高めておく。

前奏とAの部分を聴き、時計の秒針を表したウッドブロックの演奏を動作化しながら楽しむ。次にBの部分を聴き、新しく登場したトライアングルの音色を、身体運動を行ってしっかりつかませる。

板書には、A-B-Aコーダにあたる時計の絵を示し、曲全体の流れを時計の様子としてとらえさせ、使われた楽器の変化を感じ取ることができるようにする。

② 活動と学びをつなげるための言語活動について

児童は音楽を敏感に聴き取り、様々な要素について反応をするであろう。その中から、本時のねらいに即した反応を取り上げ、なぜそうしたか理由を児童に問い、話し合った後、そこに注目して聴きなおすことで学級全体のものに広げていく。教師の指示ではなく、児童が自ら聴き取った内容をもとに楽器の音色やリズムを擬音語や身体運動で表し、まとめとし、曲全体で時計の様子が変化していくにつれて、楽器も変化していることを話し合い、楽曲全体を味わって聴く活動につなげる。

(2) 目標

楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさや面白さを味わって聴く。

(3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	◎評価 ○資料等
つかむ 7分	<p>1 ウォーミングアップの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエスト活動 ・打楽器を演奏して遊ぶ。 <p>2 学習曲・学習課題をつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を生かし、楽しい音楽の学習が始まるということを感じ取らせる。 ・打楽器に自由に触れることで期待感を高める。 	<p>◎評価 ○資料等</p> <p>歌の本 教科書 ○ウッドブロック ○トライアングル ○すず ○カスタネット ○タンブリン</p>
したしむ ・考える 30分	<p>3 どんな音が聴こえるか、気をつけて聴く。</p> <p>ウッドブロックのリズムにあわせて腕を動かす活動</p> <p>① 前奏の部分を聴き、ウッドブロックの音色を聴き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名と作曲者を知る。 <p>② Aの部分を聴き、時計の様子を想像しながら聴く。</p> <p>③ Bの部分を聴き、目覚ましのベルを模した音色を聴き取り、曲の気分の変化を感じ取る。</p> <p>④ 2回目のA部分を聴き、これまでとくらべながら、身体反応をして聴く。</p> <p>⑤ コーダの部分を、様子を想像しながら聴く。</p> <p>⑥ 全曲を通して聴き、時計の様子を想像する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドブロックの音色とリズムに注目して体を動かす。 ・目覚まし時計をイメージする。 ・ウッドブロックの音色を擬音で言い表し、リズムをまねして口ずさむ活動をする。 ・ベルの音に反応している児童を取り上げ、なぜそう動いたか話しあい、CDで聴いて確かめる。 ・Aの部分と同じように動いている児童は、そのわけを話させ、ウッドブロックが続けて演奏されていることを確かめる。 ・初めのA部分と同じであることに気付かせる。 ・終わりの部分に使われている楽器やリズムを感じ取り、時計の様子を想像する。 ・板書をもとに、A－B－A－コーダという楽曲全体の流れを確かめる。 	<p>○CD</p> <p>○時計の絵①</p> <p>○時計の絵②</p> <p>◎基本の動きと違う部分を聴き取って動きに表しているか。(動作)</p> <p>○時計の絵③</p> <p>○時計の絵④</p>

ま と め ・ 発 展	4 まとめる ・曲を聴いた感想を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・時計がちゃんと動いているのに、ときどきへんなリズムになった。 ・途中で目覚ましがなくなってうるさくなった。 ・さいごは時計がこわれちゃったみたいに、いろんな音がした。 ・きれいなおんがくだった。(主なメロディーに関する感想) ・ウッドブロックの音が好きになった。 ・トライアングルを演奏したくなった。 	◎楽器の特徴的な音色を聴き取り、楽曲のよさや面白さを味わって聴いているか。(発言)
8 分	5 次時の学習内容を知る。	・次時は「ほしぞらのようすにあうおとでえんそうする」活動することを告げる。	

(4) 板書計画

みみをすませているいろいろなおとをきこう。

**シンコペーテッドクロック
(アンダソン)**

↑

きれいな
たのしい
おもしろい

トライアングル

ちょうしよく
うごいている
ときどきへんになる

キッコッカッコ

めざましがなってる

ジリリリリ

またちょうしよくなつた
はじめとおなじ

キッコッカッコ

いろいろなおと

ヒュウツ
カンカン